


大さん橋（大さん橋国際客船ターミナル及び大さん橋駐車場）

令和5年度 事業報告書

令和6年5月

指定管理者：一般社団法人横浜港振興協会



< 目 次 >

I	全体概要	・ ・ ・ ・ ・	P2
1	総括		
2	運営指標に基づく本年度の成果（数値結果）		
II	人員・組織体制	・ ・ ・ ・ ・	P2
1	人員体制		
2	スタッフ教育		
III	運営 / サービス	・ ・ ・ ・ ・	P3
1	来場者サービス		
2	市民協働/地域連携		
3	港・海への理解促進/臨海部の活性化		
4	利用向上/増収策		
IV	安全管理（客船受入対応含む）	・ ・ ・ ・ ・	P10
1	基本的な連絡・対応体制		
2	日常的な安全対策		
3	SOLAS 対応		
4	「教育・訓練」の充実化		
5	安全確保のための「館内全体の点検の徹底」		
6	衛生管理及び感染症対策		
V	維持管理（修繕計画を含む）	・ ・ ・ ・ ・	P12
1	維持管理全般		
2	エネルギー管理（光熱水費等の節減など）		
VI	収支予算書	・ ・ ・ ・ ・	P12

I. 全体概要

1 総括

当年度は、大さん橋（以下、本施設）は、新型コロナウイルス感染症の全面的な規制緩和に伴い、外国船の本格的なクルーズ再開をはじめ客船寄港が大幅に増えた。こうした中、国際客船ターミナルとして主要な役割を果たすべく、横浜港振興協会（以下、当団体）は、従来からの組織力とノウハウを改めて発揮し、「スムーズな客船受入」及び「安全・安心の施設管理」を着実にを行った。

そして、客船の増加に加えて、本施設での魅力ある自主事業（イベント等）を数多く実施したことにより、目標であった来場者数 300 万人を達成し、コロナ下の来場者減から回復できた。特に、横浜市の地域イベント（ガーデンネックレス、ハマフェス、ヨルヨノ等）と緊密に連携することで、「臨海部の回遊性向上」（観光振興など）にも貢献することができた。

また、アフターコロナでの人流増も見据えて、後述の通り「広報・プロモーション活動」を積極的に行ったこと等により、駐車場、ホール等の収益施設の利用が増え、収入の増加にもつながった。

施設の維持管理では、「省エネの目標管理（計画策定）」と、それに基づく「各種の省エネ活動」（諸設備の柔軟な運転管理、照明・空調の細かな調整など）を徹底することで、年間電力消費について、当初目標（5%減）を大きく上回る「約10.5%減」（平成30年度比）を実現した。

広報プロモーション活動では、当年度は特に「SNS発信」に力を入れた。「インスタグラム」では、本施設だけでなく、臨海部の各地域を積極的に紹介するため、高頻度の投稿とともに、独自のキャンペーン（投稿写真の応募と表彰等）、写真展示会/オフ会の開催（投稿ユーザー間のリアルの交流促進）などを実施し、フォロワー数 3,080 名（昨年比 184%）を獲得した。この他、従来のインスタ、フェイスブックに加え、「X」（旧ツイッター）を開始し、客船の入港状況や自主事業等の情報をリアルタイムで発信することで、市民や来場者の「利便性」を高めることができた。

2 運営指標に基づく本年度の成果（数値結果）

- 来場者数： 3,102,513 人 ※別紙 1（来場者報告）参照
- 利用料金収入： 304,655,821 円 ※別紙 2（ターミナル利用一覧）参照
- 電力使用量の削減： 10.53%減（平成30年度に比べて 89.47%を達成）
※本年度の使用量（累計）： 2,880,767kwh、平成30年度の使用量（累計）： 3,219,671kwh

II. 人員・組織体制

1 人員体制

館長（管理運営責任者）の統括の下、下記の通り、大さん橋の業務部門ごとに、必要なスキルや経験を持った人員を適切に配置。また、部門間でマネージャー級を中心に緊密に連携することで、多様な業務をスムーズかつ効果的に実施した。

- *総務/経理： 担当マネージャー（兼 館長代理）、担当スタッフ（1名）
- *客船受入・保安： 担当マネージャー、担当リーダー、担当スタッフ（4名）
- *警備： 隊長、担当スタッフ（12名）
- *広報： 担当マネージャー、担当リーダー、インフォメーションスタッフ（10名）

*ホール：担当マネージャー、担当リーダー、担当スタッフ（3名）

*維持管理：担当マネージャー、担当リーダー、管理スタッフ（10名）、清掃スタッフ（11名）

2 スタッフ教育（研修実績）

客船受入をはじめ、ホール・駐車場等、多様な機能を有する本施設の特性を踏まえ、指定管理者としての必要な業務の知識やスキルを維持・向上するため、下記のとおり、「年間の研修計画」に基づき、コンプライアンス、接客、事務処理等、幅広いテーマで各種研修を実施した。

※「施設の安全・安心」（防災・防犯、衛生管理等）に関する研修や訓練については、別途記載しました。
（IV. 安全管理」の該当項目：11 ページを参照）

実施内容（研修等）	実施日	備考（講師等）
■ガバナンス/コンプライアンス		
コンプライアンス研修会	4/27	外部講師
改正障害者差別解消法合理的配慮の義務化への企業のそなえ（zoomにて）	5/24	外部講師
障害者差別解消法勉強会（zoomにて）	6/9	外部講師
ハラスメント窓口担当者向け研修	12/12	神奈川県労働福祉協会
ハラスメント防止講習会（計3回）	12/15 3/7、21	講師：横浜市男女共同参画推進協会
個人情報取り扱い研修	3/26	外部講師
■接客ノウハウ		
接客マナー研修	7/31	外部講師
サービス介助基礎研修	9/19	講師：日本ケアフィット共育機構
「サービス介助士」資格取得講座	12/19-20	外部講師
■事務処理		
弥生会計セミナー受講	7/14	外部講師
電子帳簿保存法説明会	10/25	公益社団法人横浜中法人会
文書作成研修	2/20	外部講師
WEB マーケティング講習会	1/16	外部講師
■専門技能（客船受入関連）		
フォークリフト免許講習受講	8/3、7-9	港湾労災防止協会 神奈川総支部
小型船舶免許取得	3/11	外部講師

Ⅲ. 運営/サービス

1 来場者サービス

下記の通り、従来の各種取組を継続するとともに、コロナ規制緩和に伴う「来場者・船客の増加」も踏まえて、「場内の演出」や「賑わい形成」などでは、新規を含む「独自の取組」も積極的に実施した。

（1）案内機能の充実化

①デジタルでの情報発信の強化

- ・「デジタルサイネージ」10基を設置し、館内情報や地域の観光情報の発信を強化。

②ウォークコンシェルジュ活動

- ・毎日（数回/日）、インフォメーションスタッフが交代で館内を巡回しながら、来場者に積極的に声をかけるなどして、「利用者対応」や「場内の安全」を充実化。

（2）多様な来場者へのサポート

①障がい者へのサポート

- ・電動車いす5台を設置し、必要な方へ無料で貸出した（延べ19人）。
- ・サービス介助士の資格取得を支援し、スタッフ1名が受講。12月に取得した。
- ・外部講師を招き、サービス介助士の基礎講座研修を9月19日に開催。サービス介助の知識や車いすの介助方法などでのスタッフの対応力を強化。

②旅行者（外国人等）へのサポート

- ・海外カードにも対応したATMを運用した。
- ・円貨両替機、外貨両替機、携帯電話充電器などを運用した。
- ・要望の多かったSIMカードの販売を誘致することができ、自動販売機を導入し運用した。

③子育て世代・女性へのサポート

- ・従来の各種取組（圧縮ラミネート型のオムツ捨て、ベビーカー貸出、等）を継続するとともに、授乳室については、館内の奥の方に設置していた従来のものに加えて、利用者サービス向上のため「完全個室型の授乳室」をロビーに新規に導入した。

（3）場内の演出/賑わい作り

①季節の演出（飾り付け）

- ・桜まつり：2023年：3月15日（水）～4月12日（水）。2024年：3月8日（金）～4月7日（日）桜の時期に屋上へ桜（造花）を設置。
- ・七夕飾り：6月28日（水）～7月7日（金）に開催。ロビー内に笹を設置し、吹き流しやあみかざりなどを施した。来場者用に短冊を用意し、「願い」を吊るしていただいた。
- ・クリスマス飾り：11月20日（月）～12月25日（月）。ロビーにクリスマスツリーを設置。
- ・正月飾り：12月25日（月）～1月10日（火）。ロビーに正月飾りを設置。

②屋内の各種演出

- ・ターミナルピアノ：誰もが自由に演奏を楽しめるようロビー内に設置。多くの利用者から好評。
- ・フレグランス：おもてなしとして正面入口に香りによる空間演出で心地よさを提供。
- ・ショップ前通路の演出：鮮やかな飾りつけなどで演出し、賑わいを創出。

③年末年始対応（独自のサービス・警備）

- ・例年、年末年始には大さん橋に多くの人が集まります。そのため、来館者に向けたサービスの向上を目的とした下記のプログラムを実施した。
 - A) 終夜の映画上映（ロビー内） B) キッチンカーの出店（交通広場）
- ・カウントダウン花火や初日の出は大さん橋に多くの人が集まるため、下記の警備保安対応を実施。
 - A) カウントダウン花火打ち上げ時（屋上） B) 初日の出（屋上）

（4）他ふ頭の客船利用者への各種対応：正確な情報提供・案内

- ・当年度は、大さん橋以外の「市内の他のふ頭」（「新港、大黒」及び「東京港」）に入港している客船の乗船客に対し、「正しい乗船地」をお伝えするため、大さん橋として下記のような各種の対応を行った。これにより、正しい乗船地が分からず「間違えて大さん橋まで来てしまった」多くの、困っている乗船客への手助けをすることができた。

- ①毎回、交通広場に注意喚起の看板を設置。
- ②X（旧ツイッター）で各ふ頭の入港状況を発信。間違い防止について注意喚起。
- ③市内ボランティア団体と連携して、語学スタッフ（ボランティアの方々）を交通広場に配置。全てのタクシー（またはマイクロバス）に声をかけ、乗船地を間違えている場合は、乗船客とドライバーに説明して「大さん橋からの移動」を伝達・要請。

2 市民協働/地域連携

当年度は、人流の活発化（接触機会の拡大）に合わせて、本施設においても、コロナ禍前の取組の「再開」を含め、市民や地域団体との間で、下記の通り、多様な取組を幅広く実施することができた。

（1）市民との協働

①障がい者関連施設等との連携

- ・障害者スポーツ文化センター「横浜ラポール」と連携し、障がい者とその家族、横浜在住のペインターによって製作された巨大壁画を展示。

展示期間：10月8日（日）～11月2日（木）、12月26日（火）～1月31日（水）。

②地元学校との連携（教育支援）

- ・横浜市立港中学校の吹奏楽部によるクリスマスコンサートを実施。

開催日：12月16日（土）

- ・横浜市内の中学生職場体験学習プログラムを受入れた。

計7校 25名

- ①令和5年11月28日（火）横浜市立共進中学校 4名
- ②令和5年11月29日（水）横浜市立富岡中学校 2名
- ③令和6年1月18日（木）横浜市立秋葉中学校 2名
- ④令和6年1月19日（金）横浜市立汐見台中学校 4名
- ⑤令和6年1月25日（木）横浜市立谷本中学校 3名
- ⑥令和6年1月26日（金）横浜市立森中学校 6名
- ⑦令和6年1月31日（水）横浜市立仲尾台中学校 4名

③市民・ボランティア団体との協働

- ・ボランティア団体「よこはま2002」と協働し、外国客船が入港した際に観光案内を含めた語学ボランティアとして活動。
- ・横浜で活動するアマチュアオーケストラ「横浜ベイフィルハーモニー」と協働し、クリスマスシーズンに「ベートーヴェン交響曲第九（合唱付き）」を演奏。

（2）地域との連携（観光振興など）

①臨海部の施設等との広報協力

- ・ハンマーヘッド、赤レンガ倉庫、象の鼻パーク、KAAT（神奈川芸術劇場）、横浜マリニタワー、三溪

園、FMヨコハマなどとは、直接の意見交換を行い、「広報協力」（告知チラシの配架等）を実施。また、SNSでの相互連携も活発に実施。

②近隣イベントとの連携

ア 花火観覧

- A) スパークリングトワイライト花火 B) スマートフェスティバル花火

イ スタンプラリー

- A) ペイウォークマーケット B) ワールドフェスタ C) ハマフェスY-164
D) よこはま建築広場（横浜市建築局） E) ハンカチスタンプラリー（JR桜木町駅）
F) 花咲くらりー（ガーデンネックレス）

ウ フォトスポットの設置（横浜市にぎわい文化スポーツ局の市内回遊施策の一環）

- A) ゆず 11月18日（土）～11月26日（日）
B) ガンダムファクトリー 3月20日（水・祝）～3月31日（日）

②大さん橋起点のウォーキングマップ

- ・大さん橋で作成した「臨海部のウォーキングマップ」を船客や観光客の方々に配布。

③「日本百名月」選定地としてのPR

- ・「日本百名月」の選定地でもある大さん橋として、大さん橋SNSアカウント（インスタグラム）で「皆既月食の写真」を紹介するなど、大さん橋と周辺地域の「夜の魅力」をPR。

④屋外イルミネーション ～「ナイトタイムエコノミー活性化」にも貢献へ

ア 横浜港フォトジェニックイルミネーション

- ・11月1日（火）～2月29日（木）、夜景評論家（丸々もとお氏）の監修の下、屋上に青く光るグラウンドイルミネーションとバラをモチーフにした「光のローズガーデン」を展開した。大さん橋の冬のフォトスポットとしての魅力を効果的に発揮。

イ 横浜市創造的イルミネーション「ヨルノヨ」

- ・11月27日（月）～1月3日（水）、横浜市開催のヨルノヨ2023が大さん橋にて大規模なプロジェクトマッピングを投影し、大きな話題となった。施設としても電力や屋上の占有、SNS連携など様々な協力をした。

（3）地元大学との連携

①神奈川大学との連携

- ・神奈川大学の学生と当協会会長との対談を大さん橋にて実施。
実施日：1) 7月13日 4名 2) 9月13日 3名
- ・新田開発の歴史を学ぶ運河クルーズを実施（教職員・学生に対し実地体験を通じて学びを支援）。
実施日：12月8日（金）
- ・神奈川大学「SDGsアワード2023」のパネル展を実施。
実施日：3月15日（金）～3月31日（日）

3 港・海への理解促進 /臨海部の活性化

客船クルーズの本格的再開も踏まえ、下記の通り「客船や港への関心や親しみ」を育むような各種の取

組を数多く実施した。来場者や参加者からは、概して「高い評価」（喜び、賞賛等）を得ることできた。

(1) みなと周遊バス

- ・横浜を代表する3つのエリア（伊勢佐木町、元町、中華街）を巡る「横浜みなと周遊バス」を客船シルバーミュージズの乗船客・クルー向けに周遊バスを運行した。

開催日：10月9日（日）

(2) 客船講演会

- ・横浜港に立ち寄るクルーズ船の話を市民向けに講演。

開催日：12月6日（水）、7日（木）

講師：本郷 芳人氏（クルーズトラベラーカンパニー株式会社）

(3) 大さん橋夜景クルーズ

- ・普段見ることのできない海上から横浜港を見学し、ガイドによる解説を交えて物流港湾や夜景資源について市民向けに船上講座を開催。

開催日：12月6日（水）、7日（木）

(4) 大さん橋職員による館内見学ツアー

① 学校等の団体向け

- ・学校等の団体向けに、館内（ロビー、CIQプラザ）をスタッフが解説。

実施日：6月15日（木）相模女子大学小学部4年の校外学習の一環として

実施日：3月12日（木）横浜市立神奈川小学校4年の校外学習の一環として

② 来館者向け

- ・月に1回～2回程度（主に土曜日または日曜日）に開催した。事前の予約制ではなく、開催当日にアナウンスにて参加者を募集。資料を配布し館内外を案内。

実施：16回/年 参加者：125人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
回数	1回	2回	2回	2回	0回	1回	1回	1回	2回	2回	1回	1回
人数	10人	14人	11人	19人	0人	5人	2人	9人	13人	20人	11人	11人

(5) 客船見送り事業

- ・新型コロナウイルス感染症が5類に引き下がったため、6月より客船見送り事業を再開した。
- ・出港する客船へタオル(またはサイリュームライト)を配り、MCとDJとともに出港を見送った。

実施：22回/年

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2回	2回	2回	2回	5回	2回	1回	入港無し	2回	4回

(6) 働く船の見学会

- ・市民の港への理解促進のため、港で働く船（タグボート）の見学会を開催した。

実施日：3月9日（土）

参加者：20名

4 利用向上/増収策

アフターコロナも踏まえた「集客・収益の向上」（従前の回復を含む）及び「本施設・地域の賑わい形成」のため、下記の通り「各種イベント」や「広報プロモーション活動」をより充実して実施した。

(1) 各種イベント

①大さん橋マルシェ

- ・テーマ：普段は立ち入る事が出来ない大さん橋岸壁で、食と人とを繋ぐ2日間を楽しもう！
- ・開催日：11月25日（土）～11月26日（日）
- ・来場者：3,661人（内訳：11月25日2,096人、11月26日1,565人）
- ・場 所：山下側岸壁

②クジラキャンプ

- ・テーマ：水の大切さ、海の大切さ、仲間の大切さを体験しよう！
- ・開催日：8月20日（日）
- ・参加者：33名
- ・場 所：CIQプラザ

③大さん橋ライブイベント

- ・テーマ：アートと音楽から生まれる新たな「つながり」
- ・開催日：10月8日（日）
- ・出演者：ペインター：Kensuke Takahashi、JUNK-R、Sugar
MC：manatie（FMヨコハマ パーソナリティ）
DJ：KEN5、TAKEFUN、KENTA
- ・場 所：出入国ロビー

④凧揚げチャレンジ

- ・テーマ：横浜港の広がる絶好のロケーションで凧を揚げよう
- ・開催日：3月2日（土）
- ・参加者：130名
- ・場 所：CIQプラザ（ワークショップ）、屋上（凧揚げ）

⑤避難訓練コンサート

- ・テーマ：もしも、コンサート中に地震が発生したらあなたは、どうする？
- ・開催日：3月25日（月）
- ・参加者：200名
- ・場 所：大さん橋ホール
- ・出演者：横浜市消防音楽隊
- ・協 力：横浜市中消防署

（2）広報プロモーション活動

①公式SNSでの広報発信

ア 公式インスタグラムでの発信

- ・昨年度以降、大さん橋のブランド力向上やファン拡充のため、公式アカウントを通じて、高頻度で多様な情報を発信してきた。また、公式アカウントの認知度向上やフォロワー間の交流促進のためにも、“リアル”な場も含め、下記のような取組（イベント等）も積極的に実施。

※フォロワー数：3,080人（令和6年3月現在）→昨年対比で184%、約1,400人増へ

A) 地域団体等との連携

ハンマーヘッド、横浜マリニタワー、三溪園、ワールドフェスタと連携して投稿。大さん橋としては各施設の紹介や開催イベント情報などをリールやストーリーにタグ付け投稿した。

B) 国内の他港との連携

*神戸港：客船入出港シーンを互いに「タグ付け投稿」を行い、客船の繋がりや魅力をアピール。

*東京港：当港の入港情報を引用投稿（リポスト）し、東京湾内のつながりをアピール。

C) インスタグラムキャンペーン

内 容：大さん橋認知度向上のために「写真投稿キャンペーン」を開催。

応募期間：11月2日（木）～12月10日（日）

応募数：約1,400件

当選者：11名にマリーナルーージュ乗船券などをプレゼント。

E) インスタグラム写真展

内 容：公式インスタグラムで紹介した作品をリアルな作品として展示。

開催日：2月1日（木）～12日（月）

作品数：260点

場 所：CIQプラザ

F) インスタグラム・オフ会

テーマ：リアルな場所での「人と人とのつながり」を提供する場として開催。

開催日：2月3日（土）

内 容：トークショー（出演者：MC manatie ゲスト：吉本拓史氏（インスタグラマー））

トークインタビュー（出演者：MC manatie インタビュイー：大さん橋館長）

参加者：30名

場 所：CIQプラザ

イ 公式X（旧ツイッター）での発信

- ・ターミナルの情報発信を素早く届けるため、当年度の11月よりXの運用を開始した。インスタグラムと比べ「リポスト」（他ユーザー投稿の引用投稿）がしやすい為、ユーザーによるリポストが増えて、大さん橋の情報拡散力を高めることができた。また、他港の情報として東京国際クルーズ客船ターミナルとのリポスト連携で間違えて大さん橋に来場する人への対策としてXを活用した。
- ・開始してから半年だが、ユーザーの反応は高評価であり、特に客船の入出港情報への反応が良かった。写真または動画を付けた投稿が「いいね数」が多くなった。

※フォロワー数：840人。（令和6年3月現在）

②ホームページでの広報発信

- ・従来と同様、公式HPを通じて、本施設に関する多様な情報を積極的に発信した。
- ・当年度は、特に「インフォメーション」や「イベント」のコーナーをより見やすく改善して、大さん橋の施設やイベント等についての情報をより分かりやすく、より魅力的に発信。

③「メディアサポートグループ」（地元の有カメディア4社）による広報発信

- ・地元メディア4社（神奈川新聞、FMヨコハマ、tvk、J:COM）で結成された「大さん橋独自のグループ」（＝メディアサポートグループ）により、紙面・WEB上、映像・音声などの多様なメディアを駆使して、大さん橋や横浜の港のトピックなどを地元の方々に広く発信した。

- ・なお、同グループでは、月1回の定例会を開催しており、大さん橋（イベント等）についての取材や発信を促す取組も継続して行った。

※取材例：ライブペイント時、避難訓練コンサート、凧揚げチャレンジなどのイベント時来訪。

- ・また、大さん橋内に当グループを中心に地元メディアが利用・交流できる「メディアルーム」を運営し、地元メディアの各種作業（記事の作成・編集・配信など）をサポートした。

（3）収益施設での増収策

①ホール

- ・近隣ホテル等との連携（働きかけ）： ケータリング利用、先方施設の代替会場利用、等
- ・内覧会の開催： 本施設の利用を考えている主催者に「多様な使い方」を紹介
- ・利用団体の催事に関する告知支援： 神奈川新聞紙面での無料告知など

②駐車場

- ・観光バスの誘致： 関係団体等への積極的な働きかけ
- ・「ドライバーズラウンジ」の整備・運営： 広いスペースの休憩室（無料ドリンク付き）を提供
- ・各種割引サービス（シニア向け、船客向け等）
- ・回数券・プリペイドカードの販売
- ・駐車場精算機のキャッシュレス化： クレジットカードや電子マネーでの支払いが可能

IV. 安全管理（客船受入対応含む）

前述の客船や来場者の増加に伴って、本施設運営の“基盤”である「安全・安心」をさらに強化するため、スタッフ全員がより緊張感と責任意識を持って、下記のような各種の取組を徹底して行った。

1 基本的な連絡・対応体制

- ・事故・トラブル等の不測事態が発生した場合、24時間体制の防災センターを中心に関係各署に連絡し、全スタッフが迅速に対応する体制を確立。当センターの警備員をはじめ、スタッフ全員で正確な情報を収集し、外国人を含め、混乱の無いように非常放送等を通じて情報を提供。

2 日常的な安全対策

- ・警備員による巡回強化： 随時、施設警備が巡回する際にはウェアラブルカメラを標準で装備。
- ・24時間設備センター： 設備機器の異常が発生した際、本施設での維持管理担当企業（ハリマビシステム）が有する当センターと連携して、迅速に対応。

3 SOLAS 対応

- ・京浜港ワッチマン業協同組合に「施設警備」と「SOLAS 警備」の両方を委託することで、警備員間のシームレスな連絡・連携を図り、お客様への安全対応を強化。
- ・警備・案内・設備等へ横断的に指示する「警備隊長」を配置。

4 「教育・訓練」の充実化

- ・下記の通り、地元の関係機関（消防・警察等）とも緊密に連携し、「日常の安全管理」から「非常時に備えた危機管理」まで、実践重視の訓練等を数多く実施した。
- ・特に今回、多くの方が施設を利用している最中に災害（地震等）が起きたとの設定（疑似的な環

境)で、実際に利用者と一緒に訓練するという新たな試み(避難訓練コンサート)を行った。音楽を無料で楽しめる上に防災スキルも学べるため、200名の参加者があり、大変好評であった。

実施内容(研修等)	実施日	備考(講師等)
■事故防止/救急対応		
大規模イベント開催時における事故防止等講習会	7/18	講師: 横浜市中消防署総務・予防課予防係
普通救命講習会(AED講習)計2回	5/30、6/16	講師: 大さん橋防災アドバイザー
フルハーネス型安全带使用作業特別教育	2/13	建設業労働災害防止協会神奈川支部
■防災(地震・火災対策等)		
屋内消火栓取扱い訓練	7/13	講師: 大さん橋防災アドバイザー
安否確認メールの登録訓練	8/31	対応: 管理事務所スタッフ
中区自衛消防隊 消防操法技術訓練会への参加	9/28	競技者: 設備及びホールスタッフ
全体防災訓練(地震・津波想定)	10/19	横浜市消防局予防課 ※煙体験テントも実施
防火・防災管理者の再講習	3/15	横浜市消防局予防課
避難訓練コンサート	3/25	協力: 横浜市消防局予防課・消防音楽隊
■警備/防犯		
SOLAS 対応警備勉強会	5/18	講師: 京浜港ワッチマン組合
護身術講習会	11/27	講師: 横浜水上警察署
■衛生管理/感染症対策		
衛生管理研修(感染症対策について)	8/30	外部講師
衛生管理研修(塵芥室ルール勉強会)	2/06	外部講師

5 安全確保のための「館内全体の点検の徹底」

①消防設備自主点検の実施

- ・館内にある消防設備を防災アドバイザーとともにスタッフが自主的に点検した。また、点検後にはストレッチャーや三角巾の使い方などの防災知識について、防災アドバイザーより学んだ。
- ・年6回(偶数月)

②インスペクション(館内総点検)

- ・全セクションからスタッフが参加し、館内の備品や床、張り紙など点検した。年6回(奇数月)

6 衛生管理及び感染症対策

新型コロナ対策の規制緩和後も、国や横浜市の方針に即したガイドラインを整備し、スタッフへの教育・指導(衛生管理研修等)を行うとともに、下記の各種取組を効果的に実施した。

①基本的な取組

- ・感染症対応マニュアルや吐しゃ物処理マニュアルを清掃スタッフへ周知。
- ・接触感染経路を学ぶDVDやATP拭きとり検査演習(汚染物質測定)を開催。
- ・嘔吐物等の専用処理キットを常備し「EPA登録洗剤」を使用した清掃を実施。
- ・マスク、フェイスシールド、防護服、ゴーグル、ゴム手袋、消毒液などの対策品を備蓄。

②感染症対策

ア 水道いらずの手洗いスタンドの設置

- ・手洗い場のない休憩スペースに「水道を必要としない手洗いスタンド」を設置し、防災対策(断水

でも利用可)やSDGs(目標6水と衛生の利用可能性)に貢献。

イ 高性能の空気清浄機の設置

・空気清浄機(高出力の紫外線発生装置)を利用率の高い会議室に設置し、利用者の安全を図った。

ウ 抗菌・抗ウイルス剤の塗布

・ロビーのイスや、手すり、エレベーターのボタンなど手が触れる頻度の高い箇所に抗菌・抗ウイルス剤を塗布した。年4回(3か月に1回)

V. 維持管理

1 維持管理全般(設備保守、清掃等)

維持管理上の既定の業務(保守・点検等)については、関係法令及び仕様書に即して、年間計画を策定した上で常時、進捗管理を行いながら、確実に履行した。現状、設備機器等において、経年劣化による不具合が多発している状況だが、早期発見に努め、都度、速やかに修繕等の適切な対応を実施。

※別紙3(管理業務に関する報告書)参照

また、老朽化が進む本施設の特性を踏まえて、予防保全(ライフサイクルコスト縮減)も意識して、「長期修繕計画の策定」をはじめ「施設の長寿命化」に向けた各種取組を強化した。

2 エネルギー管理(光熱水費等の節減など)

従来通り、「省エネ目標に関する年間計画」を策定し、下記の通り「省エネのための各種取組」を徹底した。これにより、目標の電力使用量を下回る「使用量の削減」(一定レベルの省エネ)を実現。

(1) 省エネ目標の設定と達成

・当年度の電力使用量は「2,880,767kwh」(累計)となり、平成30年実績比で「10%以上の削減」(89.47%)を実現。これにより、指定管理期間中の省エネ目標の「年間電力使用量の5%以上の削減」(平成30年度実績比)を達成。 ※平成30年度の使用量:3,219,671kwh(累計)

(2) 電力消費量の抑制

・「熱源ポンプ流量制御装置/監視システム」を活用し、熱源ポンプ電力を削減。
・空調使用等において、主に下記の節電対策を実施。
*ロビー出入口でのエアカーテンの運用 *施設開口部のビニールカーテンの運用
*季節ごとの空調・冷凍機の温度設定変更 *照明・空調使用での注意喚起

(3) 水道使用量の節減

・雨水利用の機会を増やすため、令和4年4月に「雨水受け」を新設。
・冬期に必要性が無い「屋上芝生への灌水」を停止することで、雑用水使用料を節減。

VI. 収支(報告)

※別紙4(収支報告書)参照

以上

別紙 1 (来場者報告)

令和 5 年度 (2023年) 来場者数について

	昨年度	実績
4月	193,020	281,556
5月	270,541	260,741
6月	189,397	224,734
7月	176,726	220,776
8月	184,645	214,976
9月	195,189	216,856
10月	243,617	287,980
11月	284,236	256,000
12月	317,516	454,692
1月	191,117	212,125
2月	191,249	200,818
3月	234,152	271,259
計	2,671,405	3,102,513

令和5年度 ターミナル等利用実績

別紙2(ターミナル利用一覧)

R5年度(2023)

5 年度	客船 ターミナル	駐車場		ホール	CIQ	ロビー、屋上	発券所、店舗 利用料、撮 影、他	使用料 合計
	入場者数	台数	使用料	使用料	使用料	使用料	使用料	
4月	281,556	13,068	15,133,681	4,400,000	200,000	343,940	4,757,500	24,835,121
5月	260,741	12,195	12,603,052	7,900,000	50,000	127,800	4,848,500	25,529,352
6月	224,734	11,269	13,144,688	8,200,000	150,000	462,100	4,592,500	26,549,288
7月	220,776	12,178	13,316,975	6,900,000	200,000	228,600	5,092,100	25,737,675
8月	214,976	12,420	13,026,290	7,300,000	600,000	375,960	4,566,100	25,868,350
9月	216,856	11,420	13,034,288	7,100,000	750,000	243,500	5,130,100	26,257,888
10月	287,980	11,817	12,686,138	5,900,000	1,700,000	362,700	6,100,100	26,748,938
11月	256,000	13,079	13,149,497	8,800,000	650,000	333,600	6,031,100	28,964,197
12月	454,692	18,056	17,396,931	6,650,000	1,050,000	116,660	4,873,100	30,086,691
1月	212,125	10,239	8,972,118	5,050,000	500,000	245,100	3,872,100	18,639,318
2月	200,818	10,265	10,051,635	6,550,000	0	233,400	3,778,100	20,613,135
3月	255,657	12,514	13,542,668	6,700,000	250,000	100,500	4,232,700	24,825,868
合計	3,086,911	148,520	156,057,961	81,450,000	6,100,000	3,173,860	57,874,000	304,655,821

別紙3(管理業務実施一覧表)

種別	作業内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
常駐管理	施設管理業務	■												
常駐管理	設備管理業務	■												
電気	電灯・動力設備点検												■	
電気	受変電設備点検												■	
電気	直流電源設備点検			■	■									
電気	構内交換設備点検			■	■					■	■			
電気	電気時計設備点検								■	■				
電気	表示設備点検								■	■				
電気	インターホン設備点検								■	■				
電気	テレビ共同受信設備点検								■	■				
電気	監視カメラ(ITV)設備点検											■	■	
電気	出入監視等機器緊急対応	■												
電気	電力監視装置点検				■	■						■	■	
電気	中央監視装置点検			■	■							■	■	
電気	自動制御設備点検		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
空調	冷凍機点検	■	■			■	■	■	■	■	■	■	■	
空調	パッケージ型空調和機点検(EHP)			■	■				■	■				
空調	氷蓄熱槽点検	■	■											
空調	プレート式熱交換器点検								■	■				
空調	ヘッダー点検								■	■				
空調	冷水膨張タンク(2種)点検								■	■				
空調	ユニット型及びコンパクト型AHU点検		■	■					■	■				
空調	ファンコイルユニット及びファンコンベクタ点検		■	■					■	■				
空調	空気清浄装置点検		■	■					■	■				
空調	空調ポンプ点検			■	■				■	■				
空調	送風機点検			■	■				■	■				
空調	加湿装置点検	■												
空調	加湿装置清掃								■	■				
空調	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律に基づく機器の点検			■	■		■	■	■	■		■	■	
空調	空気環境測定		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
衛生	上水受水槽清掃											■	■	
衛生	雑用水、雨水槽清掃		■	■										
衛生	汚水槽及び雑排水槽清掃		■	■						■	■			
衛生	加圧給水ポンプ点検			■	■					■	■			
衛生	排水ポンプ点検			■	■					■	■			
衛生	電気給湯器点検			■	■					■	■			
衛生	衛生機器点検			■	■					■	■			
衛生	阻集器点検、清掃		■	■					■	■				
衛生	簡易専用水道検査											■	■	

別紙3(管理業務実施一覧表)

種別	作業内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
衛生	飲料水水質検査(11項目点検、12項目点検、16項目点検)					■						■		2月:16項目 8月:11、12項目
衛生	雑用水水質検査		■		■		■		■		■		■	
衛生	ろ過装置点検		■						■					
衛生	ねずみ衛生害虫防除	■		■		■		■		■		■		
建築設備	来場者カウンター設備点検										■			
建築設備	外灯設備点検							■						
建築設備	エアーカーテン点検									■				
建築設備	エレベーター点検	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
建築設備	ベルトコンベヤー点検										■			
建築設備	建築設備定期検査								■	■				
建築設備	特殊建築物定期調査								■	■				
建築設備	ウッドデッキ点検								■	■				
建築設備	自動ドア点検			■				■				■		
建築設備	シャッター点検											■		
消防	自家発電設備点検	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
消防	消防用設備等点検	■						■						
消防	防火設備定期検査		■											
その他	側溝清掃		■											
その他	高所作業車点検											■		
その他	吊物設備点検								■					
清掃	日常清掃	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
清掃	定期清掃		■		■		■		■		■		■	
清掃	ガラス清掃		■		■		■		■		■		■	
清掃	ガラス清掃(ホール)		■		■		■		■		■		■	※
清掃	ガラス清掃(シースルーELV)		■		■		■		■		■		■	
清掃	照明器具清掃						■						■	
清掃	駐車場ネットフェンス清掃							■						
清掃	大さん橋ホール床特別清掃					■								
清掃	高所除塵												■	
植栽	植栽芝刈り		■	■	■	■	■	■	■					
植栽	植栽目土かけ						■							
植栽	植栽施肥						■							
植栽	植栽灌水	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	
修繕	経常修繕	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	

※3月作業は、客船都合により4月に実施済み

令和5年度収支決算報告書

別紙4-1(収支報告書)

収入

区分	当初予算	決算額	差引	備考	
①指定管理料	244,086,000	244,086,000	0		
②利用料金収入	271,100,000	304,655,821	▲ 33,555,821		
項目	大さん橋ホール	76,740,000	81,450,000	▲ 4,710,000	
	CIQプラザ	2,700,000	6,100,000	▲ 3,400,000	
	出入国ロビー、クルーズデッキ、屋上	3,960,000	3,173,860	786,140	
	事務所・店舗利用料、発券所利用料	45,700,000	57,874,000	▲ 12,174,000	
	駐車場	142,000,000	156,057,961	▲ 14,057,961	
③提案事業収入	64,815,000	70,800,498	▲ 5,985,498	詳細は提案事業内訳書参照	
④横浜市による運営支援		15,220,000		物価高騰に伴う横浜市指定管理施設運営支援金	
収入合計(A)	580,001,000	634,762,319	▲ 54,761,319		

市からの委託(B)		57,599,406		詳細は受託事業内訳書参照
収入総合計(A)+(B)		692,361,725		

支出

区分	当初予算	決算額	差引	備考	
①維持管理運営費合計	532,811,000	575,516,178	▲ 42,705,178		
項目	人件費	52,220,000	53,067,752	▲ 847,752	
	消耗品費、備品購入費等	7,755,000	13,006,244	▲ 5,251,244	
	光熱水費	82,152,000	83,050,314	▲ 898,314	
	清掃費	28,336,000	28,327,208	8,792	
	安全管理費	57,013,000	52,836,652	4,176,348	
	緑地管理費	2,310,000	2,310,000	0	
	設備保守点検費	111,738,000	106,009,200	5,728,800	
	修繕費	20,000,000	41,104,767	▲ 21,104,767	
	駐車場管理費	10,054,000	9,362,932	691,068	
	保険料	1,390,000	1,460,095	▲ 70,095	
	広告宣伝費	36,168,000	30,961,403	5,206,597	
	一般管理費等経費	106,964,000	138,660,557	▲ 31,696,557	
	租税公課等	8,500,000	8,247,644	252,356	
消費税	8,211,000	7,111,410	1,099,590		
②提案事業による支出	47,190,000	51,188,533	▲ 3,998,533	詳細は提案事業内訳書参照	
支出合計(D)	580,001,000	626,704,711	▲ 46,703,711		

市からの委託(E)		47,391,675		詳細は受託事業内訳書参照
支出総合計(D)+(E)		674,096,386		

営業利益	0	18,265,339		
------	---	------------	--	--

収入

区分	当初予算	決算額	差引	備考
自主事業収入	16,695,000	5,857,595	10,837,405	自主事業、花火関係
オプション収入	27,620,000	41,464,694	▲ 13,844,694	ホール等時間外管理費・警備・清掃・設営撤去費他
自動販売機手数料収入	7,700,000	7,488,882	211,118	
その他	12,800,000	15,989,327	▲ 3,189,327	店舗共益費他
収入合計	64,815,000	70,800,498	▲ 5,985,498	

支出

区分	当初予算	決算額	差引	備考
自主事業費	33,176,000	22,335,474	10,840,526	自主事業、花火関係
オプション支出	12,804,000	28,219,067	▲ 15,415,067	ホール等警備・清掃・設営撤去費他
その他	1,210,000	633,992	576,008	特別清掃費他
支出合計	47,190,000	51,188,533	▲ 3,998,533	

収入

区分	当初予算	決算額	差引	備考
門衛巡回等		57,599,406		
大黒ふ頭客船受入業務		0		
山下ふ頭客船受入業務		0		
市からの委託 小計(B)		57,599,406		

支出

区分	当初予算	決算額	差引	備考
門衛巡回等		46,368,902		
大黒ふ頭客船受入業務		0		
山下ふ頭客船受入業務		0		
消費税		1,022,773		
市からの委託 小計(E)		47,391,675		